



自身の体験を踏まえながら講演される木村さん

6/15 六栄保育所で家庭教育講演会
「再起可能 言葉でつながる心の絆」

町教育委員会と六栄保育所（林田久代所長）は、家庭教育講演会を開催しました。

この日は、テレビやラジオで活躍されているRKK熊本放送アナウンサーの木村和也さんを講師に、保護者や地域の人など約70人が参加しました。

木村さんは、2001年3月の番組取材中に第三腰椎圧迫骨折し、脊髄損傷により両下肢機能に障がいを抱え、約8カ月の入院生活を経て、同年12月に仕事復帰されました。

木村さんは参加者に向けて、「自分の限界を自分で決めない」「疑問や不安に思っていることなど、小さなことでも聞きたいことはそのままにしておかないように」と熱いメッセージを送られました。



声かけのポイントを学びました

6/23 古城区で認知症の人に対する声かけ模擬訓練
地域での見守りや支え合いのために

古城区（橘馨区長）は、認知症の人に対する声かけ模擬訓練を開催しました。

これは、道に迷っている人を想定し声かけの訓練を行うことで、認知症の人に限らず、困っている人を見かけたら声を掛け合える地域づくりを目指しています。

この日は、区民など約70人が参加し、声の掛け方やポイントなどを学びました。

橘区長は、「このような訓練を繰り返し行って、実践するときがきたら役立てたいです」と話しました。



更生保護協議会会員と中学生でグループワーク

6/13、26 町更生保護協議会が出前講座
更生保護について考える

町更生保護協議会（猪本一男会長）は、町内2中学校で出前講座を開催しました。

これは、犯罪を犯した人などの立ち直りを支える更生保護について中学生に知ってもらうために、昨年から両中学校に出向いて開催しています。

参加した生徒は、「更生保護という言葉は初めて知った。私も自分たちの身近にいる人が悩みを持っていたら話を聞いて支えてあげたい」と話しました。



町にゆかりのある立花宗茂公について講演する植野さん

6/20 「復活の大名 柳川藩主立花宗茂」
ぼたもちさんとの深いゆかり

県文化財保護協会（服部英雄会長）は、町中央公民館で第1回文化財研修会を開催しました。

これは、同協会が県内各地で開催しているもので、本年度の第1回目が本町で開催されました。

この日は約100人が参加し、公益財団法人立花財団立花家史料館館長の植野かおりさんを講師に招き、立花宗茂の生涯や町指定文化財である「立花宗茂公夫人の墓（通称ぼたもちさん）」などにまつわる講演が行われました。



たくさんのジャガイモを収穫しました

6/8 交流の輪をもっと広げたい
上沖洲区が小さな国際交流

上沖洲区（石本雄二区長）は、地域交流の拠点として整備した「ふれあい農園」でジャガイモの収穫とサツマイモの作付けを行いました。

この日は、ベトナム実習生や区民など約30人が参加し、収穫したジャガイモは参加者で持ち帰りました。

石本区長は、「今後は、ベトナム実習生だけでなく、区内に居住している他の外国人の人たちとも交流し、小さな国際交流の輪を広げていきたいです」と話しました。



伝達式に参加した妻の絹子さん（右から2人目）と息子の高志さん（左から2人目）

6/13 生前の功績をたたえて
～故・大石正智さんに旭日単光章～

ことしの2月に逝去された元町議会議員の故・大石正智さん（東荒神区）が、このほど「旭日単光章」を受章し、町役場で伝達式が行われました。

大石さんは、昭和40年から5期20年にわたって町議会議員を務め、経済常任委員会委員長、総務常任委員会委員などを歴任し、町の発展に尽力されました。

妻の絹子さんは「議員時代、特に教育について熱心に駆け回っていたことを思い出します。思いがけずこのような章をいただき感謝します」と話しました。



プールの中とプールサイドをきれいにしました

6/5 長洲友の会がプール清掃
子どもたちに気持ちよく使ってほしい

長洲友の会（津田悦司会長）は、町内3小中学校（六栄小学校、長洲小学校、長洲中学校）のプール清掃を行いました。

これは例年、学校で水泳の授業が開始される前に2、3校で実施されています。

この日は約10人の会員が参加し、プールの中やプールサイドを高圧洗浄機などできれいにしました。また、長洲中学校では3年生51人も参加し、会員と一緒に作業しました。



フッ素塗布を受ける来場者

6/8 良い歯の広場
自分の歯について考えてみませんか？

町保健センターで「よい歯の広場」を開催しました。

これは、自分の歯や口腔内を確認し、生涯を通した健康な歯や口腔を保つための大切さを学んでもらおうと開催したものです。

この日は約260人の来場があり、無料歯科検診やフッ素塗布、唾液量の計測などを行いました。

来場者からは、「口の中の細菌をはじめてみた」「フッ素塗布が無料で受けられてよかった」などの声が上がりました。



清掃に取り組む区民の皆さん

7/7 区内を清掃 下本区が環境美化作業

下本区（久山守区長）は、区内の環境美化作業を実施しました。

これは、祇園祭の開催を前に毎年行っているもので、約 30 人の区民が参加。祇園祭の巡路やみなと憩い広場周辺を中心に草刈りやごみ拾いを行いました。

久山区長は「毎年、区民の皆さんの協力を得ながら作業ができています。今後も協力して区の環境美化に取り組んでいきたいです」と話しました。



おじいちゃんおばあちゃんに肩たたき

7/3 町内の保育所（園）・認定こども園で七夕交流会 おじいちゃん おばあちゃんと楽しいひととき

町内の保育所（園）・認定こども園で、園児の祖父母や日頃お世話になっている地域の皆さんを招いて、七夕交流会を開催しました。

園児たちによる歌やお遊戯の披露の他、おじいちゃんやおばあちゃんたちと手遊びをするなど、楽しいひとときを過ごしました。



真剣に話を聞く参加者

6/28 公民館・介護予防拠点事業 ～いつまでも元気な体でいるために～

下本区（久山守区長）は、町の保健師と管理栄養士による「熱中症予防とバランスのとれた食事について」の講話を開催しました。

この日は、約 20 人の区民が参加し、熱中症予防や症状が出た場合の対応、経口補水液の作り方などを学びました。

また、バランスのとれた食事にするための工夫なども学び、自身の食事を振り返りバランスよく食べられているかを考えました。

参加者からは、「お酒を飲むだけでは水分補給にならないことがわかりました」などの声が上がりました。



マツバボタンがきれいに咲くのが楽しみです

6/23 一区一創（花いっぱい運動） 上町区が環境美化作業を実施

上町区（玉ノ木龍児区長）は、区内の環境美化作業を行いました。

この日は、区民約 30 人が参加し、川沿いの除草作業や研修センター前の花壇にマツバボタンの苗約 300 株を植えました。

玉ノ木区長は「川沿いもきれいになり、植えたマツバボタンも夏に向けてきれいに咲いてくれることを期待しています」と話しました。

● 問・申 一般事務 有明広域行政事務組合事務
局 総務課 ☎（57）5111
消防 有明広域行政事務組合消防本部
総務課 ☎（73）5272

● 試験日 9月22日⑧
● 試験会場 九州看護福祉大学
● 試験職種・採用人員
① 一般事務 3人程度
② 消防 5人程度
● 受験資格
① 昭和61年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた人
② 平成5年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた人
● 申込期限 8月16日⑨まで

8月リサイクル体験講座
古布で作る「布ぞうり」
● 日時 8月27日④
午前9時30分～午後3時
● 講師 土山 千代子氏
● 定員 10人
● 電話受付期限
8月1日④ 午前9時から
8月19日⑧ 午後3時まで
※申し込みが多い場合は、抽選となります。
● 問・申 クリーンパークファイブ
☎（78）4433

有明広域行政事務組合職員採用試験
● 試験日 9月22日⑧
● 試験会場 九州看護福祉大学
● 試験職種・採用人員
① 一般事務 3人程度
② 消防 5人程度
● 受験資格
① 昭和61年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた人
② 平成5年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた人
● 申込期限 8月16日⑨まで

フリーマーケット出店者募集
● 日時 10月6日⑧
午前9時～午後2時
● 募集期限 8月30日⑨ 午後5時まで
● 区画 80区画（先着順）
● 出店料 無料（1区画 2・5m×4・5m）
● 問・申 クリーンパークファイブ
☎（78）4433

第13回ひまわりの里 夏の夕べ
● 日時 8月3日④ 午後5時30分～
● 場所 腹赤小学校グラウンド
（雨天時は中止、小雨決行）
● 内容 焼きそばやジュースなどの出店のほか、ステージでは出し物やゲーム、抽選会を予定
● 問 自立支援センター ひまわりの里
☎（78）0589

刈払機取扱安全講習を開催します
● 日にち 9月12日④
● 場所 町シルバー人材センター
● 受講料 無料
● 定員 10人
● 対象者 60歳以上で健康な人
● 問・申 公益社団法人
熊本県シルバー人材センター連合会
☎096（312）3310



とっさのときに大きな声が出せるようにみんなで練習しました

7/2 清里小学校で防犯訓練 不審者対策を身に付ける

清里小学校（大川隆嗣校長）は、校舎内に不審者が侵入したことを想定した防犯訓練を実施しました。

この日は、不審者に扮した先生が校舎内に侵入し、児童たちが体育館へ避難する訓練を行いました。

荒尾警察署生活安全課肝付巡査部長は「不審者は変装しているとは限らない」「防犯ブザーはいつでも鳴らせるところに付けるように」などをアドバイスしました。



金魚の稚魚をのぞき込むこどもたち

6/30 産業体験ツアーに親子 30 人が参加 長洲町の魅力発見

町と熊本ものづくり塾、町養魚組合、熊本北部漁業協同組合が連携して行う産業体験ツアーが開催されました。

これは、さまざまな体験学習を通して、町の魅力を知ってもらうために毎年開催しているものです。

ことしは、町内外から親子約 30 人が参加し、金魚養殖業についての学習や潮干狩り体験、長洲産の海苔を使った海苔あんのお菓子づくりを体験しました。

参加した子どもたちからは「金魚の赤ちゃんを初めて見た」「あさり貝がたくさん採れてうれしかった」「海苔を使ったお菓子作りがとても楽しかった」などの感想が上がりました。